

【Iヨハネの手紙1章】

「初めからあったもの、私たちが聞いたもの、目で見えたもの、
じっと見、また手でさわったもの、すなわち、いのちのことば〜」(1:1)



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.11.3 No.761

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、
栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



新年礼拝 ガリヤ湖畔にて

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfhr/>



今日は新年度の初めの礼拝です。ガリヤ湖畔で新年礼拝が持たれます。共に新年の恵みにあずかり、最も大切な御言葉をいただきましょう。

「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。」ヨハネ1:1にあるように、「初めからあったもの」は「ことば」です。

私達(イエスの愛弟子ヨハネ)が「聞いたもの」はイエス様の語られる御言葉を身近に聞きました。「目で見えたもの」は、イエス様が癒しをなさったり、悪霊を追い出したり神のみわざを成されたことでしょう。いつも共に歩んでいたヨハネは、身近にイエス様に触れ(「また、手でさわったもの」と書かれています。)

体験的に知っていますが「私たちの見たこと、聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたも私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父および御子イエス・キリストとの交わりです。」そして「私たちがこれらのことを書き送るのは、私たちの喜びが全きものとなるためです。」ヨハネが体験をした御父および御子イエス・キリストとの交わりは私達にもできます。それはいのちの御言葉(聖書)を通してです。このいのちは永遠のいのちです。

(ヨハネ17:3)「永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。」知ると言うのは、神の愛とイエス・キリストが生きて自分にどう働かれているかを日常生活の中で体験する事です。しかしその交わりに障害となるものがあります。それは私達の闇の行い、罪です。

アブラハムは、年老いて与えられた「イサクを捧げよ。」と神に語られます。可愛くてあるいは神以上に心がイサクにあったかもしれません。神は試みを与えられたのです。本当に神を恐れ、神を愛しているのかを。アブラハムの苦痛はいかばかりであったでしょうか。しかし彼はその試験にパスしました。それを通して、彼は祝福の基となり、信仰の父となりました。

「神は光であって、神のうちには暗いところが少しもない。」どんな小さなほりでも光の中には明らかにされ、目立ってしまいます。神様の前に示された罪を一つずつ悔い改めてゆきましょう。「もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにありません。

もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し(御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。)すべての悪から私たちをきよめてくださいます。イエス様との関わりが断たれないように、心を守り、日々悔い改めて十字架を仰ぎ、感謝と賛美を持って喜びの新年を迎えることが出来ますように!

♪この道を行こう この道だけが 主に従う道 天に続く道♪

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。